

## 122 ツリスガラ

(スズメ目)

兵庫県ランク:C

*Remiz pendulinus*

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

### 種の概要

本州、四国、九州では冬鳥、かつては不定期な渡来とされていたが、近年、九州から次第に東に分布を広げている。兵庫県では主に11-翌4月に見られる。河口や河川敷、湖沼などのヨシ原に生息し、ヨシの茎を割って昆虫類やクモ類などを食べている。10羽前後から数10羽の群れでいることが多い。



写真提供:小坂時弘

### 国内分布

本州北部、本州中・南西部、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、男女群島、トカラ列島、奄美大島、沖縄島

### 県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、(西宮市)、伊丹市、豊岡市、加古川市、赤穂市、高砂市、(小野市)、朝来市、(たつの市)、稲美町、播磨町



### 主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

### 県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

県内では1982年11月に赤穂市西浜の塩田跡で記録されたのが最初で、1983年2月には同所で69羽が記録されている。その後、各地で渡来が確認され、個体数も増えたが、1980年代の記録は全て瀬戸内側で、日本海側での記録は1991年3月の豊岡市が最初である。最近では、瀬戸内側では一時よりはやや減っているように見受けられる。

### 保護上の留意点

本種の生息は、ヨシ原に依存しているため、冬期のヨシ原の保全が重要。特にヨシ刈りはその生息に重大な影響を与えるため、本種が生息しているヨシ原では慎重に対応することが必要。